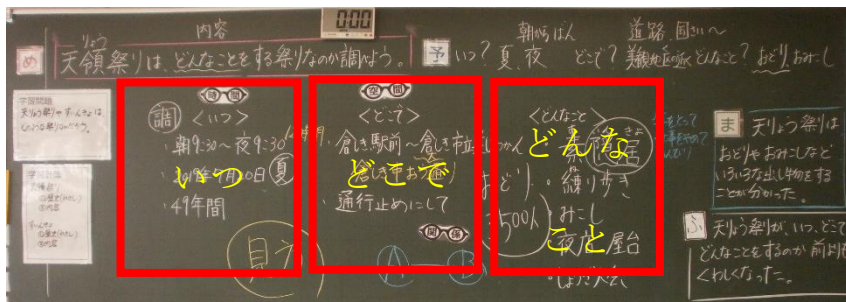


## 「昔からつたわる祭りや行事」

10月の社会科「昔からつたわる祭りや行事」では、地域の伝統行事について学習しました。身近な伝統行事として、老松小学校の4年生は、天領祭りと素隠居の由来や歴史について学習することにしました。

「天領祭りはどのような祭りなのだろう。」を学習問題として、学習計画を立てました。まずは、天領祭りの内容について調べることにしました。「いつ」「どこで」「どんなこと」の視点を基に調べて話し合っていくと、天領祭りの規模の大きさや関わる人の数の多さに気付くことができました。

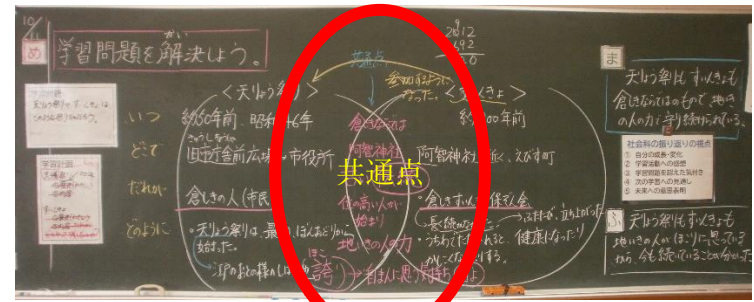


素隠居についても、予想以上に知らない事実もあり、「へえ〜。」「そうだったんだ。」と驚く児童もいました。さらに興味をもった児童は、家にある素隠居の由来が分かるパンフレットを持って来てくれました。地域の伝統行事に興味関心をもってくれた嬉しい一場面でした。

学習問題を解決する場面では、天領祭りと素隠居について、調べて分かったことを発表して



いきました。そうすると、二つには共通点があることが分かりました。例えば、「地域の人々が受け継いでいるので、成り立っていること」「倉敷ならではの伝統行事であること」「伝統行事を誇りに思っていること」など、伝統行事を伝えていく人々の工夫や努力、思いがあることが分かってきました。



学習のまとめには、天領祭りのキャッチコピーを考えて、紹介し合うことにしました。学習した知識を基に、様々な表現でキャッチコピーを考えることができました。「次の世代に残したい」「祭りは絆をつなぐもの」「郷土色豊か」「倉敷の誇り」など、学習の前には気付かなかった視点で、表現することができるようになりました。

